

足立朝日

第237号



上=会場では熱戦が続き、応援団も盛り上がる。

下=近藤区長もナイスレシーブ



大会、マスターズ大会、ジュニア大会などを開いている。佐々木会長は「間口が広く、奥行きが深い区民みんなのスポーツ」と話す。

足立のビーチボールバレー発足20年 記念大会会場は熱気で包まれる

足立のビーチボールバレーが発足20年を迎え、12月21日、「発足20周年記念大会」が総合スポーツセンターで開かれた。近藤やよい区長をはじめ、議員団、小・中学校、長・P連、体育指導イン、青少年委員、地域スポーツクラブなどが出場し、ゲームを楽しみ汗を流した。

誰かが気軽に楽しめるニュー・スポーツを新たに創り出そうと足立区体育指導委員会、区教育委員、コミュニケーション文化スポーツ公社(現生涯学習振興公社)が協力した。平成6年には足立区ビーチボールバレーでもニーズに合わせ区民

連盟(佐々木一彦会長)も結成され、現在では3000人を超える愛好者がいる。発足時は運動に親しめない人や高齢者の人たちも含めて、1人でも多くの人に体を動かす楽しさを知ってもらおうとスタートしたが、今では若い人たちの間でも人気となり技術的にも相当なレベルに達している。連盟でもニーズに合わせ区民